

第 16 回

技術教育賞

本賞は、学校および社会教育における、
自動車技術に関する人材育成・教育の向上発展を
奨励することを目的として2009年に設置されました。
今回は2件に授与いたします。

賞の概要

対象となる者

- 自動車に関する研究開発、技術創造、ものづくりなどにおいて、学生・生徒ならびに若手技術者を指導、育成し、優れた活動・成果をあげた個人若しくはグループ
- 技術者育成・人材育成プログラムの創設や教材開発および普及に貢献し、その功績が顕著な個人若しくはグループ

対象となる活動

- 自動車に関する学生創造活動に対する指導・支援
- 本会、各種団体、企業における自動車技術者育成事業の運営・推進
- 自動車に関する教育出版物の執筆、制作
- 学会誌等への技術者教育関連記事の執筆
- 新しい教育システム、教育プログラムの創設や技術者育成教育の啓発活動
- その他自動車に関する人材育成・教育の向上発展に貢献していると認められる活動

技術教育賞

小学生、中高生、大学生向け「次世代モビリティデザイン 人材育成プログラム」継続実施

自動車技術会 デザイン部門委員会

受賞理由

デザイン部門委員会は、「キッズエンジニア」で現役のデザイナーやモデラーが直接指導する体験型教室を実施し、小学生とその保護者にもデザインの魅力を伝えている。また、中高生を対象とした「モビリティデザインコンテスト」では、「10年後の暮らしを楽しくする乗り物」をテーマに応募を募り、デザイナーやエンジニア、教育関係者らが審査し、デザイン賞を選出。表彰式では受賞者に現役デザイナーがマンツーマンでスケッチ指導を行い、佳作受賞者にはアドバイスレターを送るなど、学びを支援している。大学1～2年生を対象とした「二輪デザイン公開講座」では、基礎から実践的なデザインスキルを学ぶ機会を提供し、受講者の中から現役デザイナーとして活躍する人材も輩出している。これらの取り組みにより、次世代のデザイン人材の育成に貢献している。

技術教育賞

リカレント教育を目的とした自動車技術の講習会の 企画・開催

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター【日本大学】

受賞理由

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センターでは自動車工学に関する基礎知識修得やリカレント教育の講習会を継続的に開催してきた。同学部の特徴である「ものづくり」に重点を置き、センター所属の研究者が講師となり、車両運動制御、人間工学、材料加工など幅広い領域の講習会を実施している。基礎講習会はセンター開設当初の2010年から開催しており、受講者は延べ700人近くである。2016年からの出張講習会は同センターの各賛助会員と共同でカスタマイズするもので、受講者は延べ1600人超である。両講習会とも演習・実習など実践的な内容を取り入れている。以上のように、同センターが研究活動に加えて長きに渡り自動車工学の実践教育を行ってきた実績について、今後の自動車産業界を支える人材の育成への功績を認めるものである。